令和5年度　1学期を振り返って（地域）

A：よい。あてはまる。
B：おおむねよい。
　どちらかといえば当てはまる。
C：あまり当てはまらない。
D：全く当てはまらない。
E：判断できない。よく分からない。

1　学校の姿勢に関すること	A	B	C	D	E
①　学校は、子どもの様子を学校だよりやﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ等で地域に伝えている。	13	6			
②　学校は、進んで地域とつながりをもつことに心がけている。	13	4	1		1
③　学校は、環境整備に心がけている。	12	4	1		1
④　学校は、いじめを起こさない・いじめを絶対に許さないという指導を行っている。	7	8			4
⑤　学校は、子どもたち一人ひとりに応じた指導を行っている。	9	6			4

2　児童の生活に関すること	A	B	C	D	E
①　周北小学校の子どもは、よくあいさつをする。	11	7	1		
②　周北小学校の子どもの言葉遣いはよい。	6	13			
③　周北小学校の子どもは、生き生きと学校生活を送っている。	12	6			1

地域の皆様から学校に対して様々なご意見をいただきました。

・少ない人数でもいろいろ工夫されて頑張っておられると思う。交流学習が以前より大きく増えてよかったと思う。家庭数が2軒ということで、兄弟姉妹ばかりで難しい面が多いのではと心配である。

・小学校時代の体験は、人間形成（大人になっていく上で）大きく影響していきます。地域の自然、人々とのふれあいを大切に、私たちも少しでも助力できればと思っています。

・特にアイデアは今はありませんが、これから考えていきたいと思います。

・学校へ関わりたいと思いますが、朝のフリートーク以外で、昼から子ども達と触れ合う時間、機会があれば、参加したいと思います。

・スマイルでの様子をのぞいてみてもらえると、学校の様子との違いや、第三者に対してどのような態度で接しているかわかりやすいと思います。その上で、学校での指導が必要ならお願いします。また、家庭での指導（教育）の範囲と感じられれば、面談の時にでも話していただければよいかと思います。

・先生方がよく児童と関わっておられ、すばらしいなと思っています。他校との授業の話も聞くようになってきて、子ども達の意識の広がりを感じています。

・下級生が入ってこない状況の中で、一番下の子がいつまでもお世話をしてもらう立場でいることが心配である。自分たちの学校をよくすることには上級生も下級生も平等な立場であることを学ばせる必要はないか。兄弟関係にあることも重なって、なかなか難しいとは思うが。

・先日の運動会、感動しました。小学校は地域の宝です。

・2家族のきょうだいで5人という少人数で淋しい感じがしますが、他校との交流授業もたくさんあるので刺激もあり、友達もできて、学校生活は楽しいだろうと思います。少人数校ならではのいろいろな経験をたくさんしてほしいと思います。

・5月27日の運動会に短時間でしたが参加させていただきました。演技する子ども達の一生懸命な姿、子どもらしさ、数年前～数十年前に周北小（檜余地小・川越小・三瀬川小）を卒業された方々の協力等々に触れ、とても心地よい時を過ごすことができました。藤棚の下で地域の方々と一緒に座っているのも、ほっとするひとときでした。地域に大切にされている学校だと思いました。今、小学生の子ども達は、卒業して、大人になって、きっと学校を大切にすると思います。

・稲作の体験学習は、来年度には実現したいと思っています。

・小規模校でいろいろと頑張っておられ、感謝します。

・児童数5人という少ない人数の中で、いろいろと試行錯誤されながら子ども達と向き合ってくださっていること、いつもありがたく感じております。来年度は女子児童が1人となるため、相談しやすい相手がいなかったり、全児童をまとめたりする中で、難しい局面になることがあるかもしれません。今以上に、話し合いをもてる時間や、先生方に相談しやすい雰囲気をつくってあげてもらえたら、と思います。

・これからも周北小をよろしくお願いします。